



西脇市のフードドライブ

西脇市では市内10カ所で、賞味期限まで1カ月以上あり常温保存可能な未開封の食品や日用品を受け付けます。ご家庭で眠っている食品や日用品があれば、ぜひお持ちください。

▶とき

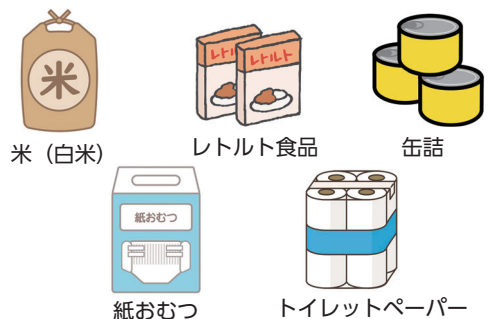
7月8日(月)～12日(金)

▶受付場所

市役所環境課、みどり園、茜が丘複合施設みらいえ、サンパル日野、こみせん比也野、黒っこプラザ、各隣保館

※市社会福祉協議会では通年で受け付けています。

提供いただきたいもの



ほかにも
乾麺、調味料、嗜好品(コーヒー、お茶など)、
生理用品、洗濯用洗剤など

フードドライブの流れ



家庭で余っている食品や日用品



市役所などで受け付け



寄付品を分配



必要とする団体へ
(子ども食堂、老人福祉施設など)

集まった食品や日用品は



必要とする人へ



NPO法人 地域・子ども食堂おむすび

月に1回、フードドライブや寄付を活用して子ども食堂を開いています。いただいた食材を使って食事を提供しているほか、レトルト食品やお菓子、日用品などは家に持ち帰ってもらえるように仕分けしてお渡ししています。

これから子どもたちは夏休みに入るので、子どもでも一人で簡単に作れるレトルト食品などは、大変喜ばれます。

代表
大西 恵美さん



◀この日のメニューはエビフライ、ポテトサラダ、みかん、プラム、ご飯、みそ汁。
みそ汁に入っている野菜とポテトサラダ、プラムは寄付されたものを使っています。

全国各地から集まったお菓子やレトルト食品、日用品なども必要とする人へお渡ししています。▶



◀子どもは100円、大人は300円でおいしいご飯が食べられます。みんなと一緒に食べるご飯はおいしいな。

「もったいない」を「ありがとう」に

フードドライブに 参加してみませんか

ご家庭に眠っている食品や食材、日用品はありませんか。「フードドライブ」は、家庭で余っている食品を持ち寄り、必要とする福祉団体や福祉施設、子ども食堂などに贈る活動です。フードドライブは誰でも気軽に参加でき、食品ロスの削減にもつながります。

▶問合せ 環境課(市役所内線1112)

食品ロス問題

食品ロスとは売れ残りや食べ残し、野菜の皮の過剰除去など、本来食べられるにもかかわらず廃棄されている食品のことです。

日本では、年間523万トンの食品ロスが発生しており、これは国民一人当たり毎日おにぎり1個分の食品を捨てているのと同じ量になります。また、食品ロスの半数近く(244万トン)が家庭からのものです(令和3年度推計値/農林水産省)。貴重な食料の有効活用や、焼却処分による二酸化炭素排出量を軽減するためにも、食品ロスを減らすことが重要です。



一人当たり毎日おにぎり1個分の食品を捨て続けている

西脇市の食品ロス

市が実施した生活系ごみの組成調査(令和5年3月)では、生活系可燃ごみにおける食品ロスの占める割合は、16~17%でした。このうち、未利用食品が7~9%を占めており、「もったいない」状況です。



▲可燃ごみに含まれていた未利用食品

食品ロスを減らすためにもフードドライブを活用してみませんか